富山データー機器サービス株式会社

2024 年度環境経営レポート

対象期間
（２０２３年０９月２１日～２０２４年０９月２０日）

作成日　２０２４年１０月８日

富山データー機器サービス

目次

1、取組対象組織・活動

2、環境経営方針

3、実施体制図および役割・責任権限表

4、環境経営目標（中期）

5、2023 年度　環境経営目標と実績

6、2023 年度　環境経営計画

7、2023 年度活動評価および見直し

8、関連法規の違反、訴訟等の有無

9、代表者による全体の評価と見直し

1.　取組対象組織・活動

◆組織の概要

①　会社名及び代表者

富山データー機器サービス株式会社

代表取締役　　桑山知子

②　所在地　　本社　　富山市八町 5542

太陽光発電　富山市押上 57

③　環境管理責任者および担当者

責任者　代表取締役　　桑山知子

担当者　経営管理部門　中村あゆみ

ＴＥＬ　076-435-5667

メール　soumu@toyama-data.co.jp

④　事業内容

電気通信設備工事業・情報通信関連サービス業

⑤　事業規模　　売上高　8,8972 千円（2024 年９月）

社員数　11 人

延べ床面積　271 ㎡

敷地面積　　1884.11 ㎡

⑥　事業年度　　10 月度～9 月度（9 月 21 日～9 月 20 日）

◆認証登録の対象組織・活動

①　登録事業者名　　富山データー機器サービス株式会社

②　活動拠点　　本社　　富山市八町 5542

③　活動　　電気通信工事、システム保守、MFP（複合機）保守

2.　環　境　経　営　方　針

今世紀末には地球温度は 5.8 度上昇し北極圏の氷が無くなり、地球の自然環境は大きく変貌することが予想されます。私達の子孫に、限られたこの地球の資源を大切に守り、この豊かな生活環境と恵みある地球の環境保全に努めなければなりません。

富山データー機器サービス株式会社は、地球温暖化や地球資源の枯渇化を認識し、省エネルギー・資源の節約・廃棄物の削減などに配慮した企業活動を推進し、地球環境の保全、及び環境負荷の低減、改善を図ります。

1. 環境関連の法規制、条例、協定などを尊守します。

2. 事業活動において環境負荷の低減と環境改善を図るために、以下の事項について重点的に取り組みます。
   ① 事業活動に伴う産業廃棄物の削減に努め、リユース・リサイクルの向上を図ります。
   ② 事業活動に伴う二酸化炭素排出量と排水量の削減に努め、省エネルギーと省資源を図ります。
   ③ 化学物質の削減と適正管理について数値目標は掲げずに、目標は無駄に使用しないために、在庫や保管場所を明確にし、適正管理を行います。
   ④ 環境に配慮した工事の施工工法に努めます。（騒音低減・振動対策・エコ部材の使用など）
   ⑤ お客様の機器やシステム等の障害に、迅速な対応でダウンタイムの短縮を図り、お客様の環境保全に努めます。
   ⑥ グリーン購入を推進します。

3. 環境経営方針を社内周知徹底し、また環境情報提供などで、社員の環境意識向上を図り、環境保全活動を進めます。

制定月日　　平成２０年１１月　１日
改定月日　　令和２年　１１月　１日
富山データー機器サービス株式会社
代表取締役　桑山知子

3.実施体制図および役割・責任権限表

現場部門責任者：糀屋岳人

環境管理責任者 代表取締役 桑山知子	・環境方針の制定 ・環境システムに必要な資源の準備 ・環境システムの全体の評価と見直し ・環境システムの実施報告 ・環境システムの確立、実施、維持するための処置 ・環境管理責任者の任命
環境管理事務局 中村あゆみ	・全員参加による環境活動の運用と改善を推進する。 ・環境システムの教育、訓練計画実施責任者 ・環境活動の運用と改善を推進する ・環境システムの実施状況報告 ・エコアクション２１認定取得に関する諸手続き担当 ・法規のチェック、尊守状況の確認
保守・工事部門責任者 糀屋岳人（保守） 濱本康宏（工事）	・現場ごとの環境計画の策定と実施 ・ガソリン、軽油の環境使用量削減の推進 ・廃棄物排出量の削減推進 ・環境に配慮した施工工法推進 ・リユース、リサイクルの推進
事務部門責任者 中村あゆみ	・事務所における環境計画の策定と実施 ・電気・灯油量の削減推進 ・紙（コピー用紙）使用料の削減 ・リユース、リサイクルの推進

４．環境経営目標（中期）２３年度～２７年度

環境経営目標（中期） 23年度～27年度								
項目	単位	基準年 22年	23年度 目標	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
電気/売上高 使用量率の削減	%	8.1%	7.9%	9.5%	7.7%	7.5%	7.3%	7.1%
自動車燃料/売上高 使用量率の削減	%	8.6%	8.4%	11.6%	8.2%	8.0%	7.8%	7.6%
灯油:使用料維持 (排出量維持)	kg-CO2	502.7	502.7	1137.8	502.7	502.7	502.7	502.7
ガス：使用量維持 （排出量維持）	kg-CO2	17.4	17.4	29.7	17.4	17.4	17.4	17.4
水道 使用量維持	ℓ	41	41	50	41	41	41	41

※23 年度より５年間で電気、自動車燃料の対売上高使用量率を毎年 0.2%基準年より１％削減する
※灯油、ガス、水道は 22 年度使用料を維持する
※使用電力の二酸化炭素排出係数
　0.481kg-CO_2/Kwh（北陸電力）を使用（実績値 2023 年 10 月度～
※化学物質は使用しておりません

5. 2023 年度　環境経営目標と実績

項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価	基準年排出量（Kg-Co2 ）	23年度排出量（Kg-Co2）
電気（使用量/売上）	%	7.9%	8.1%	98%	X	3,993.5	3,766.7
自動車燃料（使用量/売上）	%	8.4%	8.6%	98%	X	20,399.3	23,908.5
灯油（基準値維持）	ℓ	202	457	44%	X	502.7	1,137.8
ガス（基準値維持）	Kg	5.8	8.1	72%	X	17.4	29.7
CO2総排出量	Kg-Co2	-	28,843	-	X	24,912.9	28,842.8
太陽光発電による CO2削減量	Kg-Co2		43,807		X	50,083.5	43,806.6
収支CO2排出量	Kg-Co2		-14,964		○	25,170.6	14,963.8
水道使用量	㎥	41	49.5	83%	X		

※すべての項目において、使用量が増加し目標未達成
※太陽光発電量は 22 年度基準年より減少
※収支 Co2 排出量は 14,963.8Kg-Co2 の削減

6. 2023 年度　環境経営計画

方　針	分　類		目標数値	設定項目	担当責任者	達成手段
二酸化炭素排出量の削減	電力		基準値の　-0.2％	使用電気の削減	総務	こまめな消灯（電気、MFP,PC）
				室内温度管理		石油ストーブと扇風機の併用で冬場の適性温度設定に勤める
	化石燃料	灯油	基準値の　-0.2％	使用量の削減	総務	適正温度の徹底
		ガス	基準値の維持	使用量の削減	総務	使用頻度の削減
		ガソリン・軽油	基準値の　-0.2％	燃費向上・過積載禁止	中野	効率よく訪問するルート計画・乗合の徹底
						車両点検のバディ制度取り入れ（車内３S・適正空気圧）
総排水量の削減	水		基準値の維持	節水	総務	汚れのひどいものとの分別
						洗濯時の止め忘れに注意
廃棄物の削減とリサイクル率の向上	廃棄物	紙類リサイクル	再資源化率100％	分別の徹底	稲野	社内で使用する紙は裏紙使用、各自クラウド活用し使用枚数を減ら
		可燃ごみ		一般廃棄物の削減	糀屋	分別し廃棄物を減少させる。
		一般ﾌﾟﾗ		分別の徹底	糀屋	分別し廃棄物を減少させる。
		金属リサイクル	ﾘｻｲｸﾙ率総排出量の70.4％	分別の徹底	中野	分別し廃棄物を減少させる。また、無駄な廃材を出さない。
		ダストBOX		分別の徹底	中野	廃棄物が減少する様、使用部材を考慮する。
化学物質使用量の把握	化学物質		年間使用量の把握	工事部門（***）	細川	在庫、使用量を把握/使用成分の確認
				保守部門（クリーナー）	飯田	在庫、使用量を把握/使用成分の確認
その他数値化できない活動	その他			３S活動	細川	作業室（中）の整理整頓を実施する
				お客様の環境保全に努める	糀屋	作業時には周囲に配慮する
				交通安全	中野	定期的な啓蒙を実施する。
				ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	総務	在庫を確認してから購入、ｸﾞﾘｰﾝ購入に勤める。購入量の把握
				工事	糀屋	再生資源の積極的利用に取り組む

7. 2023 年度　環境活動評価および見直し

方　針	分　類		目標数値	設定項目	担当責任者	達成手段	評価	次回取り組み
二酸化炭素排出量の削減	電力		基準値の　-0.2％	使用電気の削減	総務	こまめな消灯（電気、MFP,PC）	今年は猛暑の機関が長く、エアコンの稼働が高かったため、電気使用量が増加傾向にあった また、電源切り忘れが何度か発生し、朝までエアコンがつきっぱなしが2回発生した	扇風機からサーキュレーターの切替を実施する サーキュレーターとの併用で設定温度を1度下げるなどの対策を取る
				室内温度管理		石油ストーブと扇風機の併用で冬場の適性温度設定に勤める		
	化石燃料	灯油	基準値の　-0.2％	使用量の削減	総務	適正温度の徹底	車両管理表入力漏れにより、正確な数値管理ができておらず、燃費の問題なのか走行距離の問題なのかがつかむことができなかった	月末の車両管理表と環境活動計画書との毎月の確認を定例化し、異常値が出た場合の是正を速やかに行う
		ガス	基準値の維持	使用量の削減	総務	使用頻度の削減		
		ガソリン・軽油	基準値の　-0.2％	燃費向上・過積載禁止	中野	効率よく訪問するルート計画・乗合の徹底		
						車両点検のバディ制度取り入れ（車内３Ｓ・適正空気圧）		
総排水量の削減	水		基準値の維持	節水	総務	汚れのひどいものとの分別	分別に取組んだが、都度洗濯の回数が増えた 女子トイレ洗面の水漏れによる使用量増（9月に判明）	洗濯機を節水タイプ自動洗濯機に、女子トイレ洗面のゴムパッキン交換により様子見 毎月数値確認を定例化
						洗濯時の止め忘れに注意		
廃棄物の削減とリサイクル率の向上	廃棄物	紙類リサイクル	再資源化率100％	分別の徹底	稲野	社内で使用する紙は裏紙使用、各自クラウド活用し使用枚数を減ら	分別及び計量をルーティン化されて実施している	継続して分別と計量を徹底し、100％リサイクルを維持していく
		可燃ごみ		一般廃棄物の削減	糀屋	分別し廃棄物を減少させる。		
		一般ｸﾞﾗ		分別の徹底	糀屋	分別し廃棄物を減少させる。		
		金属リサイクル	ﾘｻｲｸﾙ率 総排出量の70.4％	分別の徹底	中野	分別し廃棄物を減少させる。また、無駄な廃材を出さない。		
		ダストBOX		分別の徹底	中野	廃棄物が減少する様、使用部材を考慮する。		
化学物質使用量の把握	化学物質		年間使用量の把握	工事部門（***）	細川	在庫、使用量を把握/使用成分の確認	使用期限が過ぎている塗料や希釈材の整理を実施	都度適量購入し、不必要な在庫は抱えない
				保守部門（クリーナー）	飯田	在庫、使用量を把握/使用成分の確認		
その他数値化できない活動	その他			３Ｓ活動	細川	作業室（中）の整理整頓を実施する	貸与部品の棚卸に非常に時間がかかっていたが、整理分別に工夫をし誰もがわかるような保管方法に改めたことで、部品探しや棚卸の生産性が向上した 23年度は交通事故が4件発生し、安全運転に関して啓蒙のみではなく抑止の面で対策が必要となった	貸与部品の整理整頓はさらに工夫をすることで、生産性をあげられる可能性があるため、引き続き取り組む 各車順次ドラレコを配備し、各自の安全運転への意識づけを行う（特に事故を良く起こす社員2名への設置を早々に実施）
				お客様の環境保全に努める	糀屋	作業時には周囲に配慮する		
				交通安全	中野	定期的な啓蒙を実施する。		
				ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	総務	在庫を確認してから購入、ｸﾞﾘｰﾝ購入に勤める。購入量の把握		
				工事	糀屋	再生資源の積極的利用に取り組む		

8. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無

- 環境関連法規への違反はありません
- 遵守事項における当社での評価も問題はありません
- 関係当局より違反の指摘、客先・近隣住民等からの苦情等の指摘はありません
- 施工した現場において、建設リサイクル法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理を行いました

９．代表者による全体の評価と見直し

２３年度は新たに２２年度を基準年とし、売上高に対しての割合を目標とし取り組みました。また、２４年１月に発生した能登半島地震の影響が色濃く出た１年でした。予定していた工事や点検がすべて先延ばしとなり、それら受注減のカバーに奔走され半期ごとの確認及び毎月入力時の異常値への対応が不十分だったため、異常値の対策が遅くなり、目標未達成となってしまいました。２４年度は改めて環境経営に取り組む目的と意義残社員で再確認し、社内全体で PDCA を回せるよう取り組んでまいります。

◆各項目の担当者に月次数値の確認及び異常値が出た場合の対策を定例会議で共有していきます。
◆化石燃料消費の取組において、月一の車輌点検をタスク機能を活用し確実に実施します。
・車両管理表（各車走行距離と給油入力）の確認
・バディ同士の車両点検
・事故多発者のドラレコ配備及び抜き打ち確認
◆電力消費について、サーキュレータを２台配備し、冷暖房の温度設定を通常より１度から２度調整及び掲示し適正な温度管理を徹底します。
◆太陽光発電設備の点検清掃の実施及び点検項目・清掃方法のマニュアル作成と社内展開
◆富山県中小企業家同友会の環境部会をはじめとする団体で環境経営や SDGS への学習を継続して行います。
◆環境に配慮した工事施工に関しては、物件ごとに発注者様の施工計画を確認し、環境対策や再生資源の使用促進と副産物の処理方法に準拠した工事を推進します。
◆環境経営責任者並びに各担当者がＰＤＣＡを回し、月次定例会議で進捗を確認していきます。

2024 年１０月１日
富山データー機器サービス株式会社
代表取締役　桑山知子